

# 宿縁

二月号

千葉県市川市国府台五丁目二十六番三十九号  
浄土真宗  
本願寺派  
**中原寺**  
TEL 0477-372102  
FAX 0477-372102

## この地球は

### 人間のものですか



誰もが新たな気分です。2022年のスタートを切りたいと思っておりますが、残念なことにオミクロン株の急感染拡大と資本主義陣営と社会主義陣営の対立が激しさを増し世界中を暗く覆っています。何とか暗雲を払い希望を見出したいものです。

昨年手にした一冊の本から上野駅19番線ホームの歴史に関心を持つようになりました。いきなりこう書きたすと前後の文章がつながらず困惑を覚えるかもしれませんが、

「柳美里(ゆう・みり)」さんの書いた『JR上野駅公園口』を読んでからです。

内容は、高度経済成長期の中、その象徴ともいえる「上野」を舞台に、福島県相馬郡出身の一人の男の生涯を通じて描かれる日本の光と影を考えさせられる物語です。

かつて北国の玄関口であった上野駅は東北や北海道から集団就職や出稼ぎで故郷を後にした人たちがそれぞれの夢を胸にしめて降り立った「上野駅19番線ホーム」でした。今は東北新幹線が走り、在来線と隔てられた深い深い地下のホームですが、19番というホームは変わらずで、ただ終着駅ではなくなりました。

上野駅公園口を出るとすぐ目の前が上野恩賜公園が広がります。左手の坂を下れば西郷さんの愛犬を連れた銅像にあえます。まっすぐに進めば上野動物園に突き当たり、左に入ると東照宮と牡丹園から不忍池が目に入ります。右手を歩めば国立西洋美術館から国立科学博物館や東京国立博物館に出ます。

冬の混雑のない昼下がりにひとり公園散策はいろいろな歴史が頭をよぎります。大正大震災や大東亜戦争敗戦まじかの東京下町大空襲は逃げ場を失った多くの人たちの屍骸の山がここに築かれました、更に江戸末期にさかのぼれば官軍に追込まれた彰義隊の抵抗の跡。どういうわけか悲惨な血

の歴史が大地から聞こえてくるようです。

そして世界有数な華やかな都市に変身する高度成長期の東京オリンピック、未曾有の東日本大震災の復興が済まないままに二度目の東京オリンピック開催。より一層華やかに模様替えする建設工事に携わった人たちの多くは故郷を離れざるを得なかった東北人ではなかったのか？そして恩賜とは何か？冬場でその光景はわずかしか目にしながら、華やぐ大都会の片隅にブルーシートや段ボールでくるまる姿の中に複雑な思いが胸に迫りました。

さて、いま地球上の植物や動物の生物種は八七〇万種前後といわれています。人間が今のままの生活を続けると一年内に四万種以上の生物が絶滅していると言われ、絶滅のスピードはどんどん加速しているのです。それは偏に人間中心の生活を謳歌する現代人の果てしない欲望がそうさせていると言わざるを得ません。自然界の営みを無視して地球は我がものと思う恐ろしい人類の業としか言いようがありません。

近頃はNHKBSプレミアムの番組だけが楽しみです。つい先日は「日本の巨木」を紹介する内容で、神秘的な生物のいのちに魅了されてしまいました。中でも樹齢千年といわれる青森県の日本海に面した深浦町の「垂乳根の公孫樹(たちねのいちよう)」の光景に圧倒されました。霊性を感じさせるこの古木は昔から崇拝信仰されており、人間の乳房または鍾乳石に似た数多くの気根が垂れ下がっており気根を触ると母乳が出て良くなり赤子を肥やすと伝えられ垂乳根の公孫樹とも呼ばれているそうです。

まさに長い時を超えた生命の不思議に圧倒され、また違う番組では深海を探る未知の世界の映像を通して四十五億年前の地球の誕生と生命の誕生の不思議を考えさせられるものです。只々人間のこざかしい知恵がおよぶものではなく偉大な自然界の営みに首を垂れるばかりです。

いまや、生きていく人間を最優先して考えることがスピードを求め人間に役に立つこととしかしないという流れを食い止めなければなりません。それには物事をすぐ長い時間の中でとらえることが必要です。そして現代社会の間違いに目覚めるには、仏教で説く教えに目を向ける必要があります。

釈尊の教えは縁起の法といわれます。縁起の法とは「相互にあい縁りあいまって存在すること」をいいます。この縁起の法は常住であり、これはだれもが納得せずにはいられない基本的な法則です。例えば「海と陸の境はどこにありますか？」と問われた場合、海水を境と考えますが実は境はなくあくまでも海と陸は地続きです。このようにすべてはつながっていて独立した存在などないのです。

「十方微塵世界の衆生」とか「十方恒砂の諸仏」という言葉が聖典を開けると目に留まります。コケ類も野草も小鳥も蜘蛛も海に漂うクラゲも泳ぐ魚たちもまさに人間と共に生きとし生けるもので、尊いいのちを共有しています。それらはまた川砂の如く仏の尊いのちを宿していると考えれば親近感を覚えます。人間の身勝手さを知らせるために阿彌陀仏は五劫思惟(ごこうしゆい)されたといわれています。このわたし一人にかかる仏のお慈悲に気づかなければ勿体ないことです。

【寺灯雑記】

○元旦修正会で新年の幕開け

1/1  
全国的に初日の出が見られる冬晴れの元朝八時から参詣の皆様とともに正信念仏偈を唱和、ご流盃(甘酒)をいただきお念仏とともに新年を迎えられたことを喜びました。

住職と前任職からの法話は、阿弥陀さまのお慈悲がいかに尊いものであるか、またコロナ禍の中、今までの生き方を省みつづ生者と死者の共生の大切さについてお話をいたしました。

○婦人会・壮年会の年次総会が中止に

一月八日に予定されていた婦人会の年次総会は前日に降った雪の為に、二十三日に予定されていた壮年会の年次総会はコロナウイルスのオミクロン株の感染急拡大により、いずれも中止となり、決議に関しては総会資料の配布で文書決裁することになりました。

○令和四年の初法座が勤まる

1/16  
今年の初法座となる常例法座が開かれました。

ご講師ははじめてご出講いただき、横内教順師(文京区・稱名寺)でした。「往生浄土」のテーマのもとに、人は死んだらどこに向かうのか、浄土に生まれるために条件はあるのか、阿弥陀さまに「おまかせする」とはどういうことか、丁寧にお話しくださいました。法話の最後に、御文章の現代語訳を参詣者と一緒に唱和するなど、全員参加型の法座となりました。

【ちよつと一息】

コロナに負けないように少し笑ってみてはいかがでしょうか

\*小学二年生の女の子のテストより

・問題  
自分のことをいう言い方を知っているだけ書きなさい。

・回答  
わたくし ぼく オラ あつし

ぼくちん おいどん

・問題  
あなたのことをいう言い方

・回答  
きみ ゆー おぬし ちみ

・問題  
うつぶかざらなどはなぜ虫をとらえるようになったか

・回答  
虫がうますぎた とくにハエ

・問題  
「おそろしいテキ」はカエルをどこからねらっていますか

・回答  
あの世

・問題  
「夕方」 なんとよみますか

・回答  
ゆうホー

【二〇二三年慶讃法要団参募集】

二〇二三年に西本願寺で勤まる「親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年慶讃法要」の千葉組団体参拝を引き続き募集しております。

参加ご希望のかたは中原寺までお申し込みください。また、詳しい行程などを知りたいかたは、お気軽にお問い合わせください。

日程：令和五年(二〇二三年)年

五月八日(月)〜十日(水)

代金：八万九千円

(四名様以上相部屋利用時・税込)

宿泊：一日目 雄琴温泉・緑水亭

二日目 有馬温泉・兵衛向陽閣

訪問先：西本願寺、青蓮院、日野誕生院、姫路城など

締切：令和四年二月二十日(日)

【仏教語講座「兎角(とかく)】

「智(ち)に働けば角(かど)が立つ。情に掉(さお)させば流される。意地を通せば窮屈だ。兎角に人の世は住みにくい」夏目漱石の『草枕』の冒頭の名文です。

「とかく浮世はままならぬ」「とかく人間というものは身勝手だ」「彼には、とかくの噂がある」などといえます。

「とかく」はいずれにしても・ややもすると・あれこれ等に転化された副詞です。

この「とかく」は、夏目漱石が多用したことで広く用いられるようになったと考えられているようですが、「とかく」を「兎角」と書くのは、当て字だそうです。

仏教には「兎角亀毛(とかくきもう)」という言葉があります。「うさぎの角」や「亀の毛」は、本来存在しないものですから、現実には無いのに、あると錯覚したり、実体が無いのに、有ると幻想したりするとき、比喩的に用いられる語です。

仏教の中心思想である「縁起」や「空(くう)」を説くときによく使われ、迷いの世界の現象をあらわす言葉になっています。それが何故「とかく」の当て字になったのかはわかりませんが、兎に角、錯覚や幻想ばかりしていると、この世は、よけいに住みにくくなりますぞ。お気を付けください。(大乘二〇二〇年十月号より転載)

【二月の法座・行事の案内】

○いのちの居場所を考える会

\*二月十七日(木) 十時〜正午

○定例法座

\*二月二十日(日) 一時〜三時

布教使 渡邊恒行師(船橋浄興寺)

○門信徒役員会

\*二月二十日(日) 三時半

○教行信証を学ぶ(証巻) 前任職

\*二月二十六日(土) 二時〜四時

\*オミクロン株感染拡大蔓延防止時期の為、行事中止を余儀なくされる場合がありますのでその都度お確かめください。

門信徒会費・墓地管理料の納入をよろしく  
お願い申し上げます。

【二月の掲示板のことば】

ありがたいことと  
言える  
最後であればいい  
すべての人たちに